

機械の状態監視で安全性と生産性を両立し 「安全に止める」から「安全に動かす」を実現 セーフティコントローラ「FS3A 形」を新発売

IDEC 株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、セーフティコントローラ「FS3A 形」を、2026 年 7 月 31 日（金）より日本で発売いたします。今後、グローバルでも展開していく予定です。

IDEC では、設備の安全対策に不可欠な安全リモジュールやセーフティコントローラを複数ラインアップし、ご提供してまいりました。これらの製品は、制御システムの安全関連部において、「安全を確認できた場合だけ機械を運転する」という制御を行う機器です。非常停止用押ボタンスイッチや安全スイッチといった安全機器を繋いだ「入力部」からの信号を確認し、安全であることを判断した結果に基づいて、「出力部」に接続されたコンタクタなどを制御します。

働く現場における安全・安心・ウェルビーイングの実現は、製造現場をはじめ、国内外のさまざまなシーンで求められており、安全機器はそのためのキーコンポーネントの1つとなっております。

そしてこの度、高機能モデルとして、セーフティコントローラ「FS3A 形」がラインアップに加わります。お客様のニーズによってお選びいただけるよう、基本モジュール 4 機種、拡張モジュール 1 機種を発売いたします。



セーフティコントローラ
「FS3A 形」

従来の製品は、「安全に止める」ことを主眼に置いた手段で安全を確保していましたが、必要以上に停止させることによる稼働ロスが発生していました。また、機械の修理や調整、清掃をする際には、動かしながら作業をしないとはならない場合があるため、挟まれ・巻き込まれといった労働災害が発生している現状があります。このようなケースでは、安全のために止めるだけでは作業が出来ない、あるいは作業が難しくなる、ということもあり、安全性と生産性・作業性との両立が難しいという課題がありました。

FS3A 形は、機械の状態監視を行うことで機械の動きをリアルタイムで監視し、作業者に対する安全性を確保しながら必要最小限の動作を許可することで、安全に作業を継続することができます。これにより、安全な環境で必要な作業を行うことができ、安全性と生産性の両立が可能となります。

人と機械の関係変化に伴い、最適なインターフェースの在り方が変化することを IDEC では HMI-X（Human-Machine Interface Transformation）と定義し、HMI-X を実現する多様な製品群をラインアップすることで、さまざまな作業現場で働く人々の、安全・安心・ウェルビーイング向上を実現できるソリューションを提供しております。今後も、HMI-X 実現に向けた新製品の開発、販売を推進してまいります。



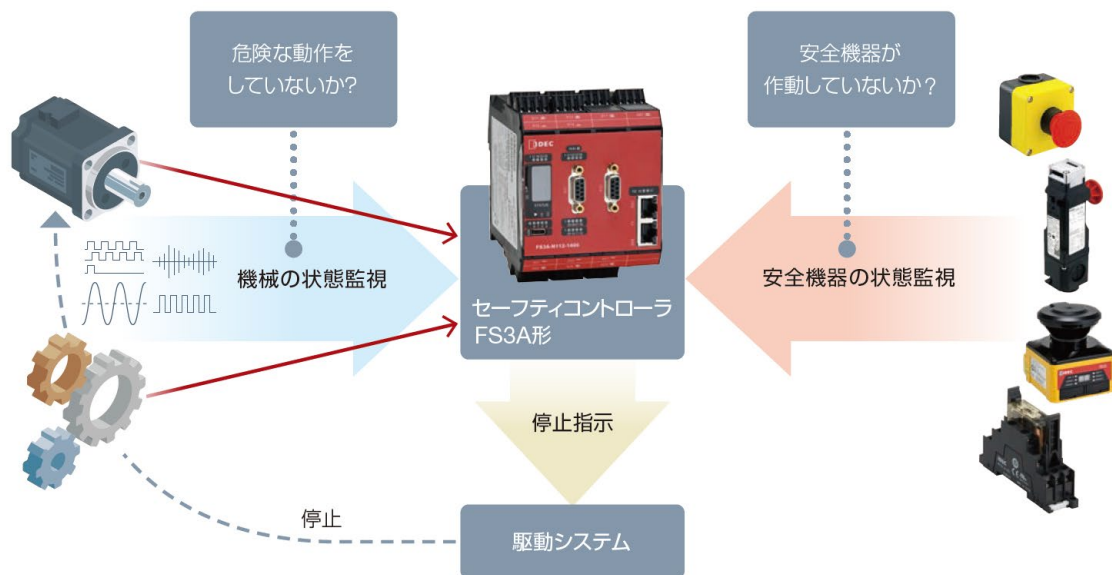
このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画本部 コーポレートコミュニケーション室 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com

■ 主な特長

EN 61800-5-2 に準拠した安全機能の提供

- ・ モーション監視機能により、機械の状態（速度・位置・方向など）を監視することが可能
- ・ 監視機能により、**一定の安全条件を満たしている間は運転継続**でき、何らかの要因により**条件を逸脱した場合は即座に安全停止**することで、安全性と生産性を両立した安全制御を実現



■ ラインアップ

タイプ	基本モジュール				拡張モジュール
特長	エントリーモデル	ミドルレンジ ネットワーク接続	ハイエンドモデル ネットワーク接続 位置/速度監視 (1 軸)	ハイエンドモデル ネットワーク接続 位置/速度監視 (2 軸)	安全入出力拡張
基本仕様	安全入出力 20 点標準装備（安全入力 14 点、安全出力 6 点） 補助出力（非安全）2 点標準搭載 拡張ユニット最大 2 台まで連結可、安全入出力最大 64 点				左記 CPU 共通 安全入出力 22 点
その他仕様	安全プログラム対応	安全プログラム対応 フィールドバス対応 安全通信プロトコル	安全プログラム対応 フィールドバス対応 安全通信プロトコル セーフティモーション機能 ファストチャネル設定可		安全出力は 安全入力へ変更可

■ 活用シーン

工作機械、自動倉庫設備、ローラー搬送設備など

■ 参考：標準価格

オープン価格

以上